

😊絵本読み聞かせ通信😊

【赤ちゃんから幼児向け】

♣保護者の皆様へ♣

第1号（令和5年4月発行）芦別市立図書館

♣子どもと一緒に読書を楽しみませんか♣

子どもの心と言葉を育むために、読書の楽しみを知り、豊かな感受性を育てる読書活動を推進しています。

子どもは、大切にされていることを感じることで安心し、健康な心が育ちます。そして愛情をもって話しかけることで、言葉が育まれます。絵本を読んであげるとは、楽しいお話の世界を共有し、コミュニケーションを取ることに繋がります。子どもに絵本を読んであげられる期間はそんなに長くありません。その時を楽しみませんか。



「絵本の読み聞かせ」はこんな効果が！



★言葉が豊かになります★

絵本の中で、さまざまな表現に触れることで、たくさんの言葉をおぼえます。

★コミュニケーションが図られます★

忙しい毎日の中でもゆっくりと子どもと向き合うことができる、大切な時間になります。スキンシップを取ることもでき、リラックス効果もあります。

★集中力がつきます★

子どもの心の年齢にあった本は、子どもの心をお話の中に連れていきます。夢中になることで、集中力がつきます。

★子どもの心が安定します★

やさしい言葉かけは、子どもの心にやすらぎを与えます。ひざの上にのせたり、添い寝をしながらの読み聞かせは、親も子ども、愛情を感じる幸せなひと時になります。

★想像力と感受性が育ちます★

絵本の中の登場人物になり、「うれしい」「楽しい」「悲しい」など、様々な感情を抱きます。絵本を通じて様々な体験をすることで、感情や想像力が豊かになります。

「子どもと一緒に楽しむ」ポイント！



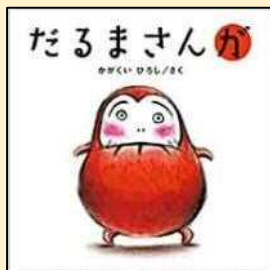
- ◆ リビングに常に2～3冊の絵本を置くようにする
- ◆ 絵本の読み聞かせをする
- ◆ 図書館の「読み聞かせ会」や「えほんおはなし会」に親子で参加する



赤ちゃんから幼児向け おすすめ本のリスト

0～2歳におすすめの本

たのしくあそぼう！



「だるまさんが」

作：かがくい ひろし
出版社：ブロンズ新社

やっぱりこれだね！



「いないいないばあ」

作：松谷みよ子 絵：瀬川 康男
出版社：童心社

その他のおすすめ本

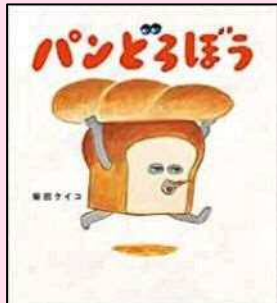
- ・くだもの（福音館書店）
- ・ぴよん（ポプラ社）
- ・いろいろばあ（えほんの杜）

選び方のポイント

色のはっきりしたものや赤ちゃんが破いたり、口に入れてしまったりしないように丈夫な素材で作られた本もおすすめです

3～6歳におすすめの本

大人気シリーズ第一巻



「パンどろぼう」

著：柴田ケイコ
出版社：KADOKAWA

外せないベストセラー



「きんぎょがにげた」

作：五味太郎
出版社：福音館書店

その他のおすすめ本

- ・わたしのワンピース（こぐま社）
- ・せんろはつづく（金の星社）
- ・ほね、ほね、きょうりゅうのほね（ポプラ社）
- ・おおきなおきなおいも（福音館書店）
- ・おやくそくえほん（日本図書センター）
- ・しろいうさぎとくろいうさぎ（福音館書店）
- ・スーホの白い馬（福音館書店）
- ・ふしぎなタネやさん（金の星社）
- ・おおきなかぶ（福音館書店）

選び方のポイント

2、3歳児の子どもは言葉を次々と自分のものにしていきます。簡単な物語を理解することができるので簡単な昔話であれば楽しく読むことができます。

4歳児以降には物語絵本がおすすめです。たくさんの物語絵本の中から何を選べばいいのか迷ったときは本の奥付を見て、「初版発行から20年が経過してもなお印刷されている本」をおすすめします。

いそげ！いそげ！



「おうさまがかえってくる
100びょうまえ！」

作：柏原佳世子
出版社：えほんの杜

みんなだいすき昔話



「てぶくろ」

絵：エウゲーニー・M・ラチョフ
訳：うちだ りさこ
出版社：福音館書店